

# 令和8年3月第1回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

## 【木島平村議会議員 関 達夫】

質問事項	質 問 要 旨	答弁者
<p>1. 地球温暖化防止は一人ひとりの気付きから</p>	<p>昨年も地球温暖化の影響で猛暑となり、各地で農産物に高温障害が起き農家を打撃した。この冬も各地で降雪量が極端だった。事象は地球の悲鳴とも言われている。みんな心配はするが、対策は他人事で見ても見ぬふりをしているのが現状である。行政の役割は大きい。</p> <p>① 令和6年度はゼロカーボンを掲げた事業の目玉であった役場庁舎の太陽光発電設備設置計画はできず、他の推進事業補助金も利用が少なく事業評価はBであった。令和7年度も当初予算に庁舎の太陽光発電設備を計画したが、年度途中でできないと判断された。年度中だが、各種温暖化対策の事業はどうであったか、評価すべき点、反省点はなにか伺う。</p> <p>② 温暖化対策は喫緊の課題である。日常生活を見直し、ゴミを減らし、資源のリサイクルも重要事項である。田舎は車の使用なしには生活できないがガソリンの利用も個々に考えたい。CO<sub>2</sub>ガス排出量削減数値は村では計算できないが、8年度の事業への意気込みを伺う。</p> <p>③ 県は「2050ゼロカーボン」を掲げていて、今年40億円を基金に積み増しする。わが小さな村も一人ひとりが出来ることをやらないと、ますます住みにくい環境になってしまう。</p> <p>今、各地で「気候市民会議」との名称で団体を創り活動が行われている。一つのヒントととらえ、現状の温暖化対策事業の進め方を見直したらどうか。村長は温暖化対策を先導する役目がある。どう認識されているか伺う。</p>	<p>村 長</p>

# 令和8年3月第1回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

## 【木島平村議会議員 関 達夫】

質問事項	質 問 要 旨	答弁者
2. 集落の維持は誰が担う	<p>議会一般質問で事あるごとに区に対し補助金、補助率、交付金を増やさないかと発言した。答弁は「補助金などに頼らない地区づくり」を考えるとあった。村づくりは人づくり、村の人口減少、高齢化、世帯減少、働き手不足の中、集落機能を維持しつつ、金銭支援がないのなら、それ以外の支援、負担軽減策を示さないと、集落は持続不可能になってしまう。7次の総合振興計画は「集落と行政の役割を見直し、時代の流れに対応した地区づくりを支援する」とある。先日、過疎地域持続的発展計画を見たが、12年までに行うとの認識なのか。明日からでも直ぐ取り掛かれる事案がいくつかある。早期に確実に行っていただきたい。</p> <p>① 多くの村民が参加する地区づくり懇談会で、集落の意見・要望を聞き、答弁をしているが、村づくりの多様な意見を日頃から聞く場は少ないよう感じる。区長が村に対して気軽に意見を言える状態となっているか。村長は、常に聞く耳を持って地域に出かけて実際を見ているか。</p> <p>② 集落は、地区づくり計画の現状と課題を話し合っているが、世帯の減少でソフト、ハード両面の事業実施のための区費徴収は重い。どこの地区も悩みである。小集落への支援が最も重要だと思うが、金銭支援以外に何かあるか考えを伺う。</p>	村 長